

学年だより No.12

文京区立文林中学校第1学年
2018年6月29日(金)発行

八ヶ岳自然教室 ～ 奇跡の好天 奇跡の絶景・・・ 感想文より一部抜粋



そして、ついに山頂に着きました。僕はとても嬉しかったです。風がすごく強かったです。山登りで暑かったのですが、山頂の風はすごく涼しかったです。

最初は足を心配して不安もありました。でも、校長先生にテーピングをしていただいたおかげで、僕は山の頂上まで着きました。

山頂に着いて僕は叫びました。そして、今までのイライラがスッキリしました。

男子

頂上の景色はとても最高でした。ロープウェイはとても楽しかったです。登山は少しこわかったけれど、一生懸命、最後まであきらめずに歩くことができました。

男子

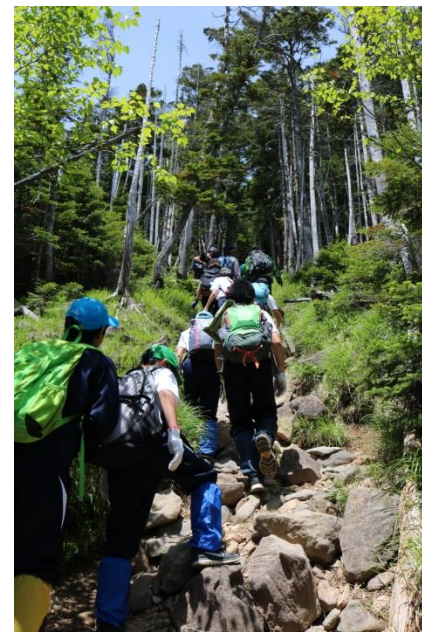
今回の山登りではみんなの励ましもあり最後まで一緒に登ることができました。私はこの山登りを通して、友達と協力し合って何事も乗り越えていく大切さを学びました。

女子



八ヶ岳自然教室を詠む
思い出せばいいの八ヶ岳自然教室
三日間ふりかえってみた八ヶ岳
思い出がいっぱいに残った八ヶ岳
八ヶ岳久しぶりだな楽しいよ
山登り疲れたけれど達成感
最後の日レタス収穫お土産だ
八ヶ岳朝が早くてまだ眠い
登山をし足をいためて踊れない
最終日やっと帰れた東京に
まじまじまじまじで疲れたよ
登山してみんなで協力楽しいな
家帰り暑すぎるって部屋の中
はどうとうとバタ作りも頑張った
登山して頂上でさけんだよ
最後の日最後の最後大変だ
頂上へ導いていく夏の風
八ヶ岳夏風が吹き髪ゆらす
登山後のソフトクリーム特別だ
お弁当山で食べた美味いよ
はどうとうとみんなで作りおいしいな
清泉寮ソフトクリーム美味しいぜ
山登り大変だけれど楽しんだ
帰り道カラオケ聞いていい気分
バタ作り疲れたけれど美味だった
はどうとうとみんなで頑張った
登山中みんな応援し合っていた
八ヶ岳時間がはやく三日間

* 作者名は掲載しませんのでみんなの思いを想像して楽しんでください。



僕はいつも、きついことはやらずにあきらめていたり他の人にまかせていたりしました。

二日目の朝、僕が目覚めると、空には雲ひとつなく、鳥の元気な鳴き声が響いていました。「ああ、山に登るのかあ。」僕の心の中には大雨が降りだしました。暗い気持ちで朝礼に出ると、みんなはワクワクしながら、山に登るのを待っているように見えました。

バスに乗り山の入口に着きました。僕は登りたくなかったけれど、みんな頑張っていたので僕も頑張ろうと思いました。途中で、帰りたいなあなどと思いながらも頑張りました。そして、頂上に着くと僕はきれいな景色に見とれました。僕はその時の達成感に感動しました。

あきらめないで頑張ると達成感が味わえることが分かったいい機会でした。

男子

登山はずっとロッククライミングをしているみたいで地獄だと思いつながら登っていた。でも、〇〇さんや△△さんが「ファイト～」とか「頑張って～」とか声かけをされていて、私もやる気がでた。声かけとかそういうところで協力していいことだなと思えた。

レク大会では、自分が司会で、登山後で疲れながらやっていたけれど、中筋さんはみんなを楽しませようと全力でやっていてすごいと思った。みんなも、きつい中でも協力してやってくれるのがすごくうれしかった。

この移動教室で協力することを学んで、日々の生活でも生かしていつ、一つのことを最後まで全力でやり遂げられるようにしたいと思った。

女子



…急に傾斜がきつくなり、体力が削られていくのを感じました。そこで、しりとりをして疲れを忘れることにしました。でも、しだいにしりとりもつまらなくなってしまう、疲れがだんだんたまってきました。そのとき、ある人が「疲れた。」と言いました。みんなは「頑張れ。」などと応援しました。それで、少し元気になり、山登りを頑張りました。

休憩のときに飴をもらい、それをなめながら頑張り、頂上について弁当を食べました。ガイドさんから「あと二時間は歩くよ。」と言われショックを受けながらも少しずつ頑張って歩き、ロープウェイに着いた時はとてもうれしかったです。

このことで、クラスみんなで協力することの大切さが分かりました。

男子



終わる気配がない険しい山道を見て私は、辛い、疲れた、早く休憩したいなどと口に出してしまった。

しかし、進んでいくうちに皆が辛いと思っていることに気がついた。私は、これ以上弱音をはかないことにした。そして、なるべくポジティブなことを考えるようにした。また、お互いに声をかけ励まし合うことにした。声をかけ合うと、言われた方も嬉しいが言った側も気分が良くなる。それをクラス全員で続けていると、無事に全員が頂上にたどりつくことができた。

頂上で見た八ヶ岳の景色は最高だった。大きな達成感を味わうことができた。

これからの学校生活でも、辛かったり疲れたりなどしたらお互いに声をかけ合いたいと思う。そして、励まし合っていくことを大切にしていきたいと思う。

女子

* 来週の予定は、先週号(No.11)にまとめて掲載してありますのでそちらをご覧ください。